

1 単元名 てつがく×ことば 私の「プロフェッショナル」

『プロフェッショナルたち』

2 単元について

単元 目標	○情報収集を元に、自分のプロフェッショナル観をつくり、工夫して表現する。 ○プロフェッショナルについての考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。
----------	---

「プロフェッショナル」とは何か。言葉からのイメージは、人によって異なるのではないだろうか。

国語辞典には、「プロフェッショナル【professional】①専門的。職業的。②専門家。職業としてそれを行う人。プロ。⇔アマチュア」（広辞苑第六版）とある。日常的には、アマチュアに対するプロとして、報酬を得て仕事として取り組む専門家という意味で使われることが多い。一方で、NHKの『プロフェッショナル 仕事の流儀』など、多くのマスコミで取り上げられるのは、一般的にエキスパートとかスペシャリストとも呼ばれる、こだわりをもって道を切り開く専門家、いわば「プロ中のプロ」である。

教科書教材『プロフェッショナルたち』も、NHKの番組同様、「プロ中のプロ」3名の仕事への姿勢・生き方とプロフェッショナルに対する考え方を紹介した説明文である。教材の読み取りだけでなく、自分での取材も含めて、自分なりのプロフェッショナル観をつくり、それを対話という形で“てつがくすること”を通して、より深めていく。そして、自分が将来なりたいプロフェッショナル像を思い描いて表現し、それらを交流することで、さらにプロフェッショナル観を磨いていきたいと考えている。

卒業間近、現実的な将来への夢や希望を抱きつつある6年生に、それぞれの道を極めようとするプロフェッショナルの姿から、具体的な自分なりの道を求め、そこでの理想的な将来像を描く機会としたい。

3 学習指導計画（8時間目／全10時間）

- (1) 「プロフェッショナル」とは何か話し合い、学習の見通しを立てる。 (1時間)
*プロフェッショナルに関わる資料を探したり、身近な大人に取材したりする。 (家庭学習)
- (2) 教科書『プロフェッショナルたち』を読み、自分のプロフェッショナル観をまとめる。(2時間)
- (3) 「プロフェッショナルとは何か」について、「聞き合い」（てつがく対話）を行う。(1時間)
- (4) 自分のプロフェッショナルとしての将来像を想像して、創作ドキュメンタリー「私のプロフェッショナル」を書く。(2時間)
- (5) 友達の創作ドキュメンタリーを読み合い、改めて「プロフェッショナル」について考える。(3時間・本時2/3)
- (6) 学習のまとめとして、創作ドキュメンタリーを加筆修正して後書きを書き、読み合う。(1時間)

4 本時の学習について

- (1) 本時のねらい
 - ・ オススメの創作ドキュメンタリーを読み合い、作品の内容や書き表し方に着目して、そのよさを話し合う活動を通して、プロフェッショナルについての自分の考えを広げたり深めたりする。
- (2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 推薦したい作品を音読する。	○まず、推薦者から紹介してもらう。
2 作品に描かれている内容や書き表し方について、話し合う。	○優れた点と疑問点に分けて、話し合わせる。
3 プロフェッショナル観について話し合う。	○根拠となる資料を言えるよう促しておく。
4 学習感想を書く。	○作品から読み取れることと読み取れないことの区別を意識させたい。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・ 国語の授業において“てつがくすること”を取り入れることで、学びの広がりや深まりが得られたか。